生産性向上支援訓練オープンコースのご案内

（コース番号:23-16-12-058-028）

会社で働くという事は？

現場社員のための組織行動力向上

企業の仕組みや、業界の背景について理解を深め、
業務改善を発信するために必要な知識、技能を習得する。

開講日／令和５年11月16日(木)

時間／9:30～16:30
（昼食休憩1時間程度を含む）

会場／ポリテクセンター富山
（富山県高岡市八ヶ55）※無料駐車場あり

定員／15名(最少催行人数6名)
※先着順。定員になり次第締め切らせていただきます。

申込締切日／11月２日(木)
※申込締切日を過ぎての受講希望についてはご相談ください。

受講料
3,300円
（税込）

課題・目標

・社員に経営的な視点を持ってほしい
・状況に応じた現場力を高めたい
・上司と部下をつなぐ人材を育てたい
・「フォロワーシップ」がどういうものかよく分からない

課題解決・目標達成

・企業活動の目的とコスト感覚について理解する
・現場の問題と改善策を理解する
・チームマネジメントを理解する
・主体的な行動ができるフォロワーの役割を理解する

コース概要

【推奨対象者】　☆初任層
【 受講内容 】　①企業組織と生産活動
②状況変化に対応する現場力
③フォロワーシップと組織行動力
◆その他演習◆

生産性センターHP

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構　富山支部
ポリテクセンター富山　生産性向上人材育成支援センター
TEL:0766-28-6903　FAX:0766-28-6931

コース名	現場社員のための組織行動力向上		
コース番号	23－16－12－058-028	受講料	3，300円（税込）
日　程	令和5年11月16日（木）	時　間	9：30～16：30
概　要	企業の仕組みや、業界の背景について理解を深め、一般社員のうちから経営者の視点を理解し、上司の補佐や後輩の育成を行い、生産性向上のためのビジネス感覚を養うことにより、自ら主体的に社内の問題発見・業務改善を現場から発信するために必要な知識・技能を習得する。		
推奨対象者	初任層		
実施機関	株式会社 おがわコーポレーション		
開催場所	ポリテクセンター富山 〒933-0982　高岡市八ヶ55　　TEL　0766-28-6903		

カリキュラム内容		時間
■企業組織と 生産活動	（1）企業経営の仕組み ・企業はなぜ利益を出し、成長していかなければならないのかという目的を理解する。 ・企業の組織とは何かを理解し、効率的に仕事を進めるための役割を考える。 （2）生産活動の目的と目標(演習あり) ・生産活動の目的は「顧客を満足させ企業の存続と成長に必要な売上と利益を得ること」を理解する。 ・生産活動の重要な3要素(①品質、②コスト、③納期)について考える。 （3）経営者の視点とコスト感覚(演習あり) ・経営者の視点に立つためには、自分が社長になるのが一番。そこで、「自分がこの会社の社長だったら、社員に何を期待するか」という内容でグループ討議を行う。 ・社長の苦労を実感し、社長の「熱き思い」を従業員に伝える経営理念（目的・方針・目標）を理解する。	1.5h
■状況変化に 対応する 現場力	（1）現場力を高めるための要素(演習あり) ・「現場力とは何か」を理解し、現場力の向上を6ステップで「見える仕組み作り」に活かす。 ・マネジメント・サイクルが継続的に回るような仕組みこそが「強い現場」になる。 （2)現場の問題発見と改善姿勢(演習あり) ・「問題」という意味を従業員で共有化を図る。 ・問題という本来の意味を理解したうえで、問題発見のチェックポイントを「不字分析手法」(不の付く言葉で分析する）で考える。 （3）現場力の継承と人材育成 ・スキルマップを作成し、「人に作業がつく状態」から「作業に人がつく状態」にする。 ・部下・後輩への指導の仕方をTWI(日本産業訓練協会TWI：Training Within Industry)で考える。 （4）専門性向上の必要性 ・専門性のメリットとデメリットを理解し、自分はどのような人材になっていくべきかを考える。 ・企業から求められている人は、専門性と汎用性のバランスが良い人。これからの時代も同様かを考える。	2.5h
■フォロワーシップと 組織行動力	（1）フォロワーシップとは(演習あり) ・リーダーとフォロワーの違いおよびフォロワーシップのポイントを理解し、円滑なチーム活動のために果たすべき役割を考える。 ・グループ演習として、「チーム力を結集して目標を達成する」という自分の役割を各人が正確に実施できないとチームに「組織力の差」が出ることを実感する。 （2）組織行動力に直結するフォロワーとしての役割 ・組織行動力を高めるためのフォロワーとしての役割を理解し、フォロワーに求められる効果(組織的効果と個人的効果)を考える。 ・人が集まると必ず怠ける人が現れる。この「社会的手抜きの法則」を理解したうえで、どのように対応するかを考える。 （3）管理者への提案方法(演習あり) ・職場において、今一番の問題になっていることを抽出し、改善できた時の理想像を明確にして、自分達が考える理想の職場にするための対策案を経営得層に提案する。	2h
※上記内容は、諸般の事情で多少の追加や変更等がありますことを申し添えます。	合計	6h